

輝水だより

平成10年8月発行

[問合せ先]島根県環境生活部環境政策課

課長補佐 安田 22-5562

平成10年7月の宍道湖・中海の水質状況について、島根県が実施した調査結果をお知らせします。

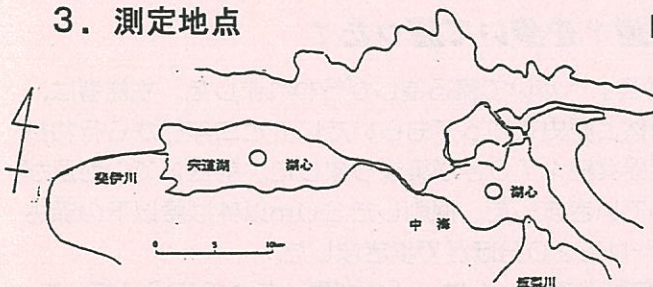
1. 概況

- (1) 宍道湖では、アオコが発生しましたが、COD及び全窒素は先月と比べると良くなりました。また、平成8年度の年平均値と比べると、全窒素については良くなりました。
- (2) 中海では、赤潮は見られず、先月と比べるとCODは同じで全窒素、全りんは若干悪化しましたが、平成8年度の年平均値と比べると良好でした。

2. 測定結果

項目	単位	環境基準 (湖沼A・III類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考] 平成8年度年平均	
			5月	6月	7月	5月	6月	7月	宍道湖	中海
水温	℃	—	23.5	24.1	26.2	20.3	23.1	25.8	—	—
pH		6.5~8.5	8.6	8.9	8.3	9.0	8.3	8.4	—	—
COD	mg/l	3以下	3.9	5.4	4.7	10	4.2	4.2	4.2	4.9
SS	mg/l	5以下	6	6	5	45	3	4	6	8
DO	mg/l	7.5(上層)	10	10	8.6	10	7.4	7.9	10	9.9
		以上(下層)	4.2	8.9	4.6	0.6	0.9	3.2	8.0	4.2
全窒素	mg/l	0.4以下	0.30	0.41	0.37	0.62	0.31	0.37	0.50	0.54
全りん	mg/l	0.03以下	0.045	0.053	0.055	0.22	0.040	0.051	0.037	0.056
クロロフィルa	μg/l	—	7.1	11	16	29	7.1	8.1	15	19

3. 測定地点



[参考] 水質は、上層と下層で測定しており、CODは上層と下層の平均値、DOは上層及び下層の値、その他の項目については上層の値です。

[宍道湖・中海測定地点図]

[水質の用語]

- ◆ pH : 水の酸性、アルカリ性を示します。pH7のときは中性、これより数値が高い場合はアルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、フコクロコが大量に発生すると上昇します。
- ◆ COD : 湖の水の中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- ◆ SS : 水中に漂っている小さなゴミやフコクロコの量を示します。
- ◆ DO : 水に溶けている酸素の量を示します。水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- ◆ 全窒素 : 水の中の窒素の量を示します。全りんと同様、フコクロコの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- ◆ 全りん : 水の中のりんの量を示します。
- ◆ クロロフィルa : 植物フコクロコに含まれる葉緑素(クロロフィルa)の量を示します。この量が多いほど、植物フコクロコが多いことを示します。

◇宍道湖で泳いだ

★★★★★★★★

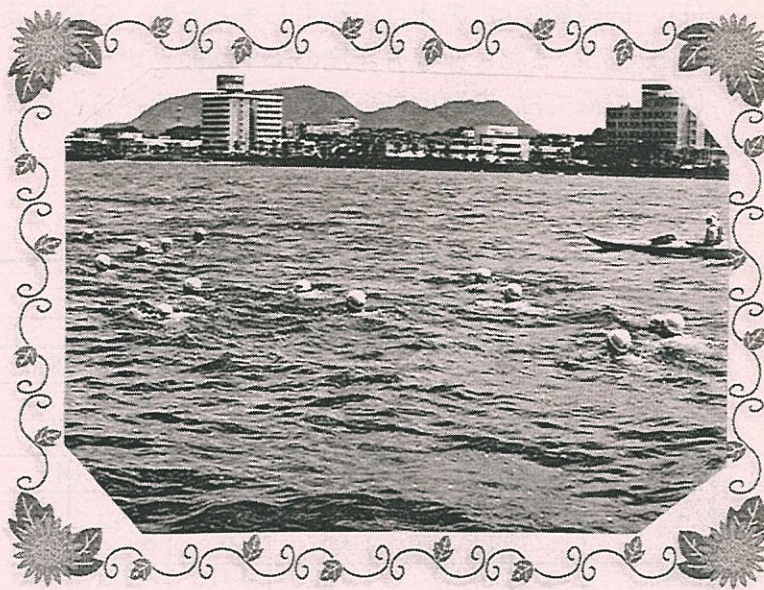
宍道湖の生きた水から自然の大きさを体感した！

平成10年8月3日（月）に宍道湖で「宍道湖遠泳を楽しむ会」が行われました。主催者は、元島根大学教授、現在気象湖沼学研究室主宰の橋谷博さん。

「泳げるか泳げないかは泳いでから」と1989年から始めて今年で10回目。昨年からは一般募集で行い、この日は、17歳から67歳までの男女31名が2.6kmのグループ遠泳に挑戦しました。

コースは、乃木福富町沖から千鳥町の湖岸まで。太鼓の合図で出発したグループ泳もまもなく西風が強くなり波浪にもまれて孤独泳となりましたが、護衛船6隻と奴-5艇に守られて全員無事にゴール。湖底泥の舞上がりで白帽は茶色になっていましたが、「生物の拮抗する生きた水なら洗顔も必要なし」と意気軒昂。

「湖は遠ざかるほど汚く見える。親近感を持ってほしい」が、橋谷さんの結びの言葉でした。



◇嫁ヶ島へ歩いて渡った

★★★★★★★★

宍道湖に浮かぶ「嫁ヶ島」へ、水中参道？を歩いて渡った！

平成10年8月8日（土）宍道湖に浮かぶ「嫁ヶ島」へ歩いて渡る催しが行われました。主催者は、元島根大学教授の橋谷博さん。「島を取り巻く自然と歴史を知ってもらいたい」と二年前から行われています。今年は、遠くは京阪神、広島から老若男女約170名が集まりました。前日までの西風がうそのように無風・快晴となり、水も次第に澄んでいきました。掘削した30m以外は腰以下の深さで、島まで張った2本のロープをつたい、220メートルを20分ほどで歩きました。

初めて参加した同市春日町城北小学校4年生の佐野沙樹ちゃんは、「水が思ったよりきれいだった。



夏休みの研究で宍道湖のことを調べたい」と元気良く話していました。

明治時代には皇太子もおしのびで渡られた嫁ヶ島。

弁財天祠、碧雲湖悼歌（宍道湖舟唄）の石碑、灯籠、鳥居などがあり、これらみんな謂われ深い文化遺産です。まさに「自然」と「歴史」の両方を学べる宍道湖・嫁ヶ島。宍道湖に浮かぶ嫁ヶ島とお地藏さん、そして夕日が一体となって醸し出す情景は、他にはない素晴らしい景観です。